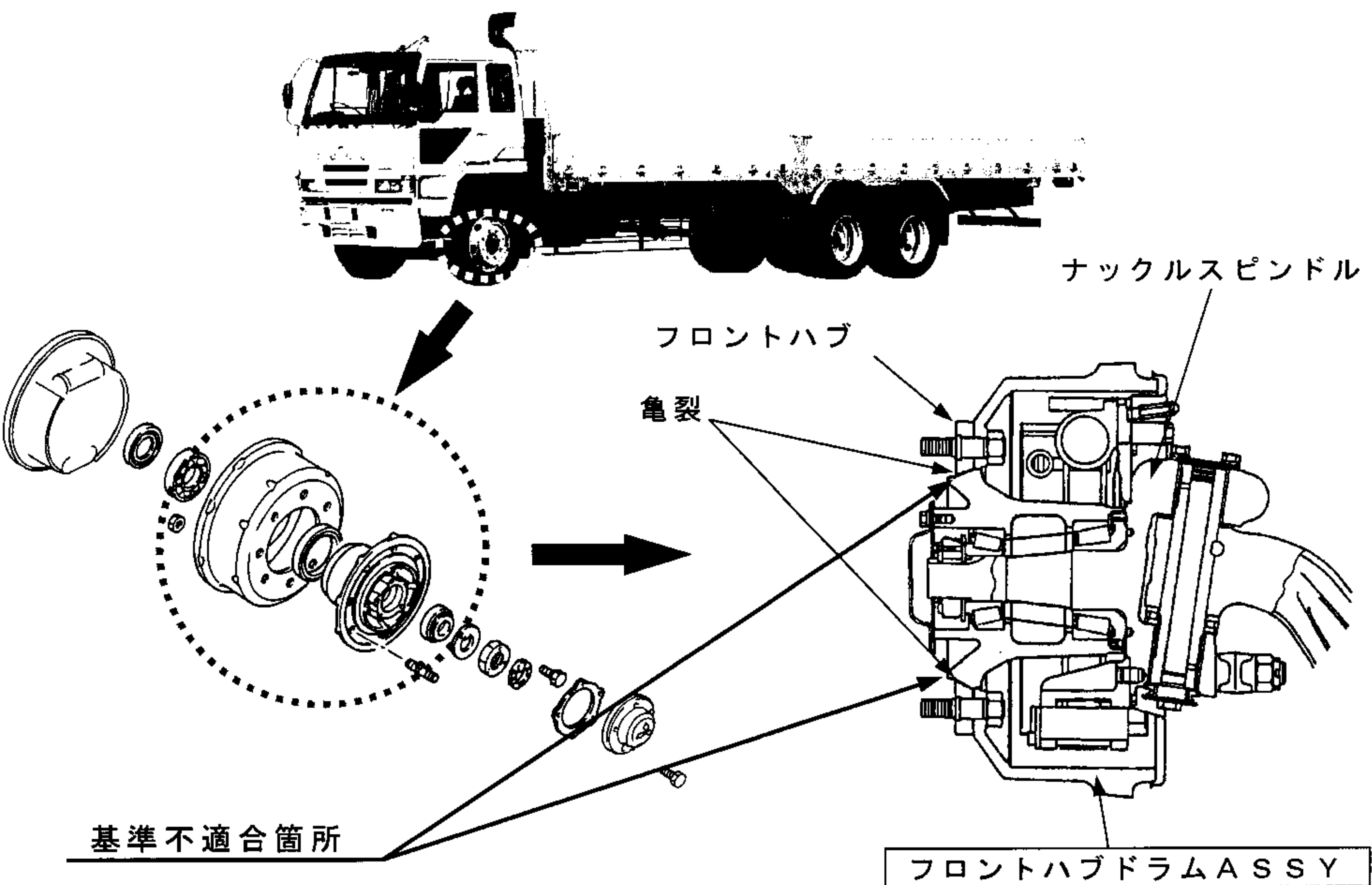


改善箇所説明図



フロントハブの強度が不足しているため、旋回頻度の高い走行を繰り返した場合などに、ハブのフランジ部の付け根付近に亀裂が発生するものがある。また、整備状況、積載条件などの要因が重なると、この亀裂の発生が早まる可能性がある。
このため、そのままの状態で使用を続けると亀裂が進行し、最悪の場合、当該部分が破断して車輪が脱落するおそれがある。

改善の内容

全車両、装着されているハブの種類を確認し、必要に応じてハブを対策品と交換する。
なお、対策品の検証と供給に時間を要するため、暫定措置として次の対策を行う。

- ① 現行の最新型ハブが装着可能な車両については、現行の最新型ハブに交換されていることを確認し、未交換のものは現行の最新型ハブと交換する。
- ② 現行の最新型ハブの装着が不可能な車両については、ハブの亀裂の有無を点検し、亀裂のあるものは対応する新品のハブと交換する。

注 : □は、交換部品を示す。

識別 : ①対策品への交換作業実施済み車両に対しては対策作業完了後、Φ9の金色のシールを所定の位置*に貼付する。

②対策品が間に合わず、暫定措置を実施した車両にはΦ9の銀色のシールを所定の位置*に貼付する。

* : トラックの場合 : 運転席側ドアリヤピラー部ストライカー下部。

バスの場合 : 右後部点検蓋内右上隅付近。